

【国指定・重要文化財（建造物）】

にかいどうけじゅうたく

二階堂家住宅 おもて なかえ

昭和50年6月23日指定



- 所在地 肝属郡肝付町新富5595
- 所有者 個人
- 特徴

肝付町にある二階堂家住宅は、鹿児島で特徴的な二棟づくりの家です。建築年代ははっきりしませんが、文化7(1810)年ごろ建てられたといわれています。特徴としては茅葺(かやぶき)であること、「おもて」の縁側は南面して棟は東西に、「なかえ」の棟は南北にと、直角に交わった雁行型に配し、樋(とい)で接した寄棟造であることなどがあげられます。美しい茅葺の屋根や、風格のある武家門などとともに、江戸時代の武士の住居の面影(おもかげ)をよく残しています。